

放射線科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、診療時の画像検査と診療情報等を使って行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。なお、この臨床研究は倫理審査委員会の審査を受け、研究方法の科学性、倫理性や患者さんの人権が守られていることが確認され、病院長の許可を受けています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

《研究課題名》 放射線診断画像介入による骨関連事象回避のためのシステム

《研究機関名・研究責任者》 関西医科大学附属病院・放射線科 由井緑

《研究の目的》 がん患者さんの生存期間延長に伴い、転移性骨腫瘍を有する方に対し、病的骨折や脊髄麻痺といった骨関連事象の重症化が起きる前に放射線治療科、整形外科をはじめとした多職種が積極的に治療に介入し、ADLを維持することが重要となってきました。院内で撮像された画像に対する読影レポートから、転移性骨腫瘍を有する方を抽出し、骨転移病変の重症度をスコアリングしリスク分類を行ったうえで治療介入が必要な患者を自動で抽出できるシステムの構築を目的としています。それにより早期治療介入が可能となり、骨関連事象の重症例の減少（緊急照射数、緊急手術数の減少など）が可能と考えています。

《研究期間》 研究許可日～2025年6月1日

《研究の方法》

●対象となる患者さん

転移性骨腫瘍の患者さんで、2008年4月1日から2021年3月31日の間にCT、MRI、骨シンチ、FDG-PET検査等を受けた方

●研究に用いる試料・情報の種類

情報：診断名、年齢、性別、病期、治療内容、検査内容、検査結果、画像、病理、診断結果

試料：なし

《この研究に関する情報の提供について》

この研究に関して、研究計画書や研究に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

《この研究での検体・診療情報等の取扱い》

お預かりした画像情報や診療情報等には匿名化処理を行い、患者さんの氏名や住所などが特定できないように安全管理措置を講じたうえで取扱っています。

《本研究の資金源・利益相反について》

この研究は外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画して実施しているものです。したがって、研究結果および解析等に影響を及ぼすことは無く、患者さんの不利益につながることはありません。また、この研究の研究責任者および研究者は「関西医科大学利益相反マネジメントに関する規程」に従って、利益相反マネジメント委員会に必要事項を申請し、その審査と承認を得ています。

*上記の研究に利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

《問い合わせ先》

関西医科大学附属病院 放射線科 担当医師 研究医員 由井緑
大阪府枚方市新町2丁目3-1
電話 072-804-0101 (代表) FAX 072-804-0131